

建仁寺塔頭正伝永源院の四季山水図を公開

細川護熙展「京洛の四季」

2023年9月15日(金)から開催



建仁寺塔頭正伝永源院所蔵 四季山水図「知音」 2013年 H185×W960 cm 墨、顔彩、和紙、縁木神代樺

ポーラ ミュージアム アネックス(東京・中央区銀座)では、細川護熙の展覧会「京洛の四季」を2023年9月15日(金)から10月15日(日)まで開催します。

細川護熙は60歳を機に政界を引退した後、作陶や書画、油絵などの創作活動を開始しました。近年は奈良・薬師寺慈恩殿「東と西の融合」障壁画や京都・龍安寺「雲龍図」襖絵など、大型障壁画の制作に数多く携わっています。

本展では、2014年に京都・建仁寺塔頭正伝永源院へ奉納された「四季山水図襖絵」を展示します。「知音」「溪聲」「秋氣」「聴雪」から成る全24面の襖絵は、京の四季折々の遠景が主に墨をもって、ときに淡い色あいを添えて描かれています。細川氏が襖絵をはじめた初期の作品で、外部での公開はおよそ10年ぶりとなります。本来は別々の間に据えられていますが、本展覧会では24面すべてを見渡して鑑賞できるのも見どころのひとつです。あわせて蓮や花と虫をモチーフに、ここ数年制作を続けている漆絵作品もご紹介します。

|| 概要 ||

展覧会名：細川護熙展「京洛の四季」

会期：2023年9月15日(金) - 2023年10月15日(日) ※会期中無休

開館時間：11:00 - 19:00 (入場は18:30まで)

入場料：無料

会場：ポーラ ミュージアム アネックス (〒104-0061 中央区銀座1-7-7 ポーラ銀座ビル3階)

アクセス：東京メトロ 銀座一丁目駅 7番出口すぐ / 東京メトロ 銀座駅 A9番出口から徒歩6分

主催：株式会社ポーラ・オルビスホールディングス

協力：細川事務所、一般社団法人九曜アートプロジェクト

URL：<https://www.po-holdings.co.jp/m-annex/>

【リリースに関するお問い合わせ】株式会社ポーラ・オルビスホールディングス コーポレートコミュニケーション室
info-annex@po-holdings.co.jp TEL 03-3563-5540 / FAX 03-3563-5543

【読者からのお問い合わせ先】ポーラ ミュージアム アネックス TEL 050-5541-8600 (ハローダイヤル)

|| 作家プロフィール ||

細川 護熙 (ほそかわ もりひろ)

1938年 東京都生まれ

1963年 上智大学法学部卒業

1963年 朝日新聞社入社 社会部記者

1971年 参議院議員

1983年 熊本県知事

1992年 日本新党結成

1992年 参議院議員

1993年 衆議院議員

1993年 第79代内閣総理大臣任命

1998年 衆議院議員辞職

1999年 作陶を始める

2001年 初個展、以降国内各地、パリ、ニューヨークなどで個展開催

2009年 油絵を描き始める

2012年 襖絵の制作を始める

京都 地蔵院に瀟湘八景図襖絵 8面を奉納

2014年 京都 建仁寺塔頭正伝永源院に四季山水図襖絵 24面を奉納

2018年 奈良 東大寺に白文華嚴経唯心偈 6曲 2双屏風を奉納

2019年 奈良 薬師寺慈恩殿に東と西の融合障壁画 66面を奉納

2021年 京都 大本山建仁寺に瀟湘八景図襖絵 24面を奉納

2022年 京都 龍安寺に雲龍図襖絵 32面を奉納

東京美術倶楽部にてウクライナ難民支援

チャリティ・オークション 細川護熙展を開催

2023年 京都 南禅寺天授庵本堂に赤壁舟遊図襖絵 8面を奉納

京都 龍安寺に雲龍図襖絵 8面を追加奉納し、全40面となる

和歌山 高野山總持院の襖絵 32面を制作中



左:「荷花」2021年、333×333 mm カンヴァス、漆、金、錫

右:「エビネとムカデ」2022年、330×330 mm カンヴァスボード、漆、金、錫